

山口大学医学部&附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

山|大|医|学|部 病|院|だ|よ|り

Yamaguchi University
Faculty of Medicine and Health Sciences

Yamaguchi University Hospital

News



白衣着衣式

3
2020

VOL.246

退任のごあいさつ



山口大学大学院医学系研究科
法医学講座 教授

藤宮 龍也

この度、令和2年3月末日をもちまして山口大学を退任することになりました。私は、昭和56年に滋賀医科大学を一期生として卒業後、京都大学大学院を経て、京都府立医科大学に就職してブリティッシュ・コロンビア大への留学を含めて12年間に過ぎました。平成12年4月に吉田謙一教授の後任として山口大学大学院医学系研究科法医学講座教授に着任し、医学部で20年余お世話になりました。これまで多くの先生方のご厚情に助けられ、特に、山口大学出身の故・古村節男先生(昭36卒)には多大なご支援を頂き、今日を迎えられたと感謝の念でいっぱいです。

法医学は、異状死体の死因究明を業務としますが、山口県では全国規模の事件が時折起こり、解剖件数も多く、最初の10年間は県内1人医師体制で365日対応のため忙しい日々でした。その後は法医学者3人体制となり、より学問に専念できま

した。この間、大阪監察医も含めて約4800体の解剖・検案を行い、中には、山口女子高専生殺人事件、山口連続放火殺人事件等がありました。

研究テーマのアルコールが非線形速度論に従うことから、複雑系科学として進化医学・栄養科学へと興味を広げてきました。もともと、大学生時代からハイデガーやヘーゲルなどの哲学、科学史を学んでいましたが、法医学では医事法学も研究するようにになりました。山口大学では医療安全学・生命倫理学・医学史・医学入門の教育も担当し、4度の教務委員長や分野別認証の担当など、文系的な趣味と実益・研究が一体化した教員生活を送ることができました。学生には「複雑系の先生」と呼ばれて嬉しく思いました。自己開発コースでは人気の教室と言われ、多くの学生と研究ができて楽しい時間を共有できました。研究も認められ、日本アルコール・アデクション医学会理事長として活動するようになり、充実した日々でした。

最後になりますが、山口大学医学部及び附属病院のますますの発展と皆様のご活躍を祈念しますと共に、これまでのご厚情に心より感謝申し上げます。

令和元年度定年退職者の皆さま



山口大学大学院医学系研究科
脳神経外科学講座 教授

鈴木 倫保

このたび本年3月末日をもちまして、脳神経外科科長を定年退任いたします。昭和54年東北大学卒業後、昭和62年このころの校留学、平成8年岩手医科大学助教授を経て、本学に赴任しました。母校の人事はめまぐるしく、本学は卒後24カ所目でしたが、在任期間は最長でなんと20年になりました。

これまで、手術部部长、卒後臨床研修センター長を併任いたしました。手術部では映像システムの確立、研修センター長としては「松下村医塾」を興して医療人育成センターの礎を築きました。学外の指導者招聘、或いは白翔館建設等の研修環境整備に尽力いたしました。今でもマッチング発表の悪夢を見ます。

学術面では、加藤紘先生、松崎益徳先生、岡正朗先生の多大なご尽力により、脳局所冷却による脳疾患治療に注力し、昨年

7月より医学部に寄附講座「先進温度神経生物学講座」を開設しました。退職後もキャンパス内で診断・治療機器開発を続けておりますので、皆様にお目に掛かることも有るかと思存しますので、是非お声を掛けてください。

臨床面では、本県日本海側・中山間地の脳神経外科過疎地域の治療を積極的に行うために、遠隔医療システム(Telestroke Advanced: Teles)を開発して、山口大学をHubとし、過疎地域施設をSpokeとする「hub & spoke」による均等化モデルを構築しました。

これまで、本学において教育、研究、診療に尽力できたのも、皆様のご支援の賜と心より深謝申し上げます。生まれ持った「手術ジャンキー」で、手術室で過ごした時間は病室で過ごした時間の何百倍も長いと思います。特に、麻酔科・AMEC・CCMCのスタッフにはお世話になりました。：かなりのやんちゃ坊主とのご評価だったでしょうか？

最後になりますが、山口大学医学部附属病院のますますの発展を祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。



Topic 医学部医学科 白衣着衣式を挙

1月24日(金)、医学部医学科白衣着衣式を挙りました。本式典はこれから臨床実習を行う医学科4年生に、医学生としての決意と自覚を促すことを目的に開催しています。



式では、谷澤医学部長から訓辞があり、全国医学部長病院長会議認定の Student Doctor (医学実習生) 認定証が学生に授与されました。続いて、福本霜仁会長から祝辞があり、4年生109名に白衣が授与され、学生は一斉に白衣を身に着けました。

その後、学生代表の久保輝太さんが「医療人となることを志す者としての自覚を高め、頂いた白衣の責任と使命を胸に、日々精進していくことを誓います」と宣誓し、これを受けて松山副病院長から期待を込めた挨拶があり、学生全員が医学生としての決意を新たに式を終えました。当日は保護者見学会も行われ、多くの参観がありました。

Topic 「頭を良くしたければ体を鍛えなさい」

脳に及ぼす運動の効用について執筆 ~ 大学院医学系研究科 陳冲助教

大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座の陳冲(ちんちゃん)助教が、理化学研究所脳神経科学研究センターの望月泰博研究員との共著「頭を良くしたければ体を鍛えなさい——脳がよろこぶ運動のすすめ」を執筆しました。

陳冲助教は、最新の脳科学の知見をもとに、運動が脳に及ぼす効用について分かりやすく説明しています。健康な身体を保つために運動が必要であることは今や常識

となっていますが、運動は脳にも様々な影響を及ぼします。数分間程度の運動でも、集中力や創造力が高まり脳の働きが良くなります。また、運動を継続的に行えば、前頭前皮質や海馬がより健全に働くようになり、ストレスに強くなるばかりか、うつ病や認知症の予防効果も期待できます。さらに、「脳がよろこぶ運動マニュアル」を掲載し、「脳のために運動しませんか」と提案しています。



(中央公論新社 2020/1/20初版刊行)

Topic 「画論 27th The Best Image」超音波部門で最優秀賞を受賞

附属病院検査部の有吉亨臨床検査技師が、キャノンメディカルシステムズ株式会社主催の「画論 27th The Best Image」超音波部門(心臓部門)で、最優秀賞を受賞しました。

本賞は、画像のクオリティだけでなく、病気の診断や治療に必要な画像の質や撮影・画像処理の技術や工夫など総合的に審査するコンテストです。有吉技師は2014年にも同部門で受賞しており、2度目の快挙となります。

有吉技師は『リニアプローブを用いることで明瞭な経過観察が可能であった化学療法誘発性心筋症患者の左室心尖部壁在血栓』の演題にて発表し、撮影技術などが高く評価されました。

有吉技師は「臨床診断に役立つ画像を撮影するために工



夫してきた技術が評価され大変うれしく思います。これからも地域の皆さまにより質の高い検査を提供できるよう自己研鑽に努めていく所存です」と受賞の喜びを語りました。

栄養治療部
季節のレシピ
Seasonal Recipe



Today's
menu

いちご雛

いちごのおいしい季節なので、卵も牛乳も入っていない生地にいちごとあんをくるみ、お雛様のようなお菓子「いちご雛」を作ってみました。

いちごは皮膚や細胞を健康に保つのに役立つ“ビタミンC”をおいしく手軽にとることができます。

栄養成分

エネルギー 60kcal/個

材料

12個分

[生地]

| | |
|----------------|---------------|
| ●小麦粉…………… 100g | ●敷き油 |
| ●白玉粉…………… 10g | ●いちご…………… 12粒 |
| ●砂糖…………… 30g | ●あんこ…………… 60g |
| ●水…………… 250cc | |

作り方

- 1 生地をボウルに入れ、泡だて器でよくかき混ぜる。(ダマにならないように)
- 2 熱したフライパンに薄く油を引き、①の生地をお玉1杯ほど流し入れ、薄く広げて焼く。
- 3 いちごにあんこをつけ、粗熱をとった②でくるむ。
※あんこの代わりにカスタードクリームやチョコクリームなどでもおいしい。

参考文献：食の医学館

©監修：有富早苗・福田有子



Information お知らせ

新生児ドクターカー「すくすく号」の運行を開始します

緊急に集中治療を必要とする新生児に適切な初期治療を提供するため、県内初となる新生児ドクターカーの運行を、令和2年3月24日(火)より開始します。

ドクターカーは医師が同乗し、治療しながら搬送することで、より早い医療的ケアが可能となります。出動範囲は山口県内及び近隣県の医療機関です。



山大公式YouTubeアカウントに
新病棟紹介映像を掲載中!
ぜひご視聴ください。



オリジナル版



ダイジェスト版

皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。
今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。
FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp
企画発行 山口大学医学部広報委員会・山口大学医学部総務課総務係
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2007
医学部 <http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/>
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>